

# 97年度 春の学会

## 原子核三者若手総会議事録

大阪大学 (三者事務局)

中曾 聡 nakaso@rcnp.osaka-u.ac.jp

鍋谷 栄展 nabetani@kern.phys.sci.osaka-u.ac.jp

### 1 名簿校 (京大)

#### 1.1 要請・報告

議案書に記載されている事柄以外に、以下の点について要請・報告があった。

- 研究室の連絡責任者のメールアドレスをきちんと登録すること。
- 夏の学校の前までに発送を行う。
- 昨年度から名簿の注文を取ってから、名簿の価格を決めることになっている。

#### 1.2 議案の可否

本議案については、賛成多数により可決された。

### 2 三者センター校 (東北大学)

#### 2.1 三者準備校予算 (郵送費)

郵送費の予算増額について、準備校より

- 今年度から開始する、民間企業に対する献金の募集に使用する。
- 献金の見込みとしては、一口2万円を50社くらい。
- 目的は、今後の参加費の上昇を押さえるため。
- 現在、企業献金について予算ワーキング・グループで作業中。

との説明があった。また、実際の今後の作業手順に付いて

1. パンフ等により民間企業へ「夏の学校」の紹介、献金の募集
2. 口座の作成
3. 企業広告の掲載

となることが報告された。公費により印刷を行っている出版物については企業広告の掲載が出来ない可能性があり、広告掲載の可能な出版物について今後調査が必要である、との報告があった。(これに関しては三者事務局が調査を行う。)

なお、今年度から日本物理学会の協賛を得ることが出来た旨、報告があった。

## 2.2 Talker への補助金

今年度、約 23 万円の黒字が見込めることから、この黒字分を研究会の Talker への補助へ充当するという議案について、説明・質疑応答があった。これに対して

- Talker への補助が本当に必要か？
- 黒字分を使い切る必要があるのか？
- 参加者の旅費補助に使用してはどうか？

という質疑・提案があった。

### 2.2.1 原子核パート Review Talker について

Review Talker への謝金を申請している原子核パートより、Review Talker についての以下の説明があった。

- 原子核パートから D3, PD の人に依頼する「招待講演者」である。
- それぞれの分野に対する全体的な review を行ってもらうものであり、自分の専門分野以外の内容に付いても網羅的に話してもらう予定である。(自分の研究の説明を行うのではない)
- 謝金としては、毎年 2 万円程度。

研究会の Talker に対する補助は必要かどうかの問い合わせに対して、高エネルギーパートより

- 研究会の Talker には補助が無くても良い(参加者は原則本人負担)。
- 高エネパートでは、昨年の研究会においては、博士課程の人達にも来てもらって、「自分の研究」について話してもらった(無償)。

という、意見・説明があった。

素粒子パートからは、

- 研究会の Talker は一般の参加者として参加している。
- 素粒子パートでも、D3, PD の人達が話をすることがある(無償)。

という説明があった。

これに対して、原子核パートの Review Talker は、あくまでもパートからお願いして「自分の専門以外」のことで(準備をしてもらって)話してもらう旨の説明があった。また、今後 review の性質を強くしていく予定であることも報告された。

原子核パートの今年度予算における Review Talker への謝金について、賛成多数で可決された。原子核パートの予算として、申請通り 30,000 円(1 人 1 万円 × 3 名)とすることが賛成多数により可決された。今後、素粒子・高エネ各パートで Review Talker を行う場合に、謝金を出すかどうかをパート毎に検討することとなった。

研究会の Talker (原子核パートの Review Talker 以外の Talker) に対する補助の支給については賛成少数により否決された。

### 3 三者準備校（東大）

議案書にあげられた議案以外に三者準備校より報告があった。

#### 3.1 ポスター案

ポスター案について、説明があった。加えて、今年度から物理学会の協賛が得られた旨の報告が再度あった。

#### 3.2 「夏の学校」校長

また、今年度の「夏の学校」の校長が、東大の宇津野氏になることが報告された。

#### 3.3 講義会場

講義会場について、以下のように報告があった。

パート	会場	その他
原子核	レストラン「みつやま」	
素粒子	レストラン「JOY QUEEN」	
高エネ	村の公民館	ホテルのバスを利用

#### 3.4 議案の可否

- 参加費を 3,000 円とする。
- 食費の（質の向上のため、昨年度にくらべての）値上げ。
- 宿泊費（食費とのセット料金を含む）

のそれぞれについて、賛成多数により可決された。

三者総会とパート総会の日程の入れ替えについて、賛成多数により可決された。これにより、パート総会は会期の 4 日目に、三者総会は会期の 5 日目にそれぞれ変更となった。

#### 3.5 その他

宿泊費の補助に関し、今年はホテルからの厚意により 1 日あたり 20 名分の無料宿泊が可能となり、この無料宿泊を各担当校に配分される旨が説明された。また、宿泊費の配分を受ける担当校についても宿泊費を一旦徴収し、「夏の学校」会場においてキャッシュバックする予定であることが報告された。

「夏の学校」準備校も参加費を徴収されることが確認された。

旅費の補助について補助額の算出方法を見直すことが報告された。

### 4 コメント（名簿校）

補助をいただいている研究機関から、もっと魅力的なプレゼンを行う必要があるとの指摘を受けた旨のコメントがあった。これについては、予算ワーキンググループで議論中である。